

あまの志

【特集】令和3年度の新見公立大学の学びと行事を紹介

各学科から

健康科学部 健康保学科
健康科学部 看護学科
健康科学部 地域福祉学科
助産学専攻科・大学院看護学研究科

同窓会だより

同窓生の近況

研究紹介

助産学専攻科長 四宮 美佐恵

私の研究紹介: アロマセラピーに用いる精油の神経細胞への作用機序の解明及び臨床応用に関する研究

News & Events

スポーツ大会、クリスマス会 ほか



Niiimi University

2022 | <https://www.niimi-u.ac.jp>



令和3年度の 新見公立大学の**学び**と**行事**を紹介

まんさく62号では、コロナ禍での対面を中心とした新見公立大学の学びと行事の様子を紹介いたします。

本学では、ワクチン接種の推進に加えて、毎日の健康チェック、マスク着用、手指消毒、換気、密接・密集の回避を徹底しておこない、学生に安心できる学習環境を提供することに努めています。

学生の新型コロナウイルスワクチン接種率（2回96.8%）



※健康上の理由等で未接種となっている学生を含め、引き続き感染予防には万全を期していきたいと考えております。



マスク着用



手指消毒



換気



密接・密集の回避

合計611人が接種を受けました。その結果、他の会場で受ける19人に加え2回目のワクチン接種率が96.9%（630人）となり、高い接種率を早期に実現することが出来ました。（学生総数：650人）

また、教職員（127名）の接種率も、96.1%となり、法人全体（777人）として接種率、96.8%を実現することが出来ました。

全面对面授業をおこなっています

演習の様子



救命救急の様子



「健康生活援助技術論」における足浴演習の様子



高齢者疑似体験

講義の様子



卒業研究の様子



成人看護学概論の講義の様子



ソーシャルワーク演習Ⅳ 事例検討

各種行事も対面で実施しました

● オープンキャンパス

令和3年7月18日(日)、8月9日(月)、29日(日)の3日間、オープンキャンパスを実施しました。パーテーションの設置や参加者全員への検温の実施等、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し実施しました。緊急事態宣言の発令や、雨による公共交通機関の乱れもありましたが、3日間で約620人の高校生及び保護者の方に参加していただきました。



学生相談会の様子



学科の特色紹介の様子



介護体験の様子

参加者の感想：学生と先生方との距離がとても近く、授業が楽しみになりました。学生の方達も明るく元気な方が多く、是非入学して自分の目指す仕事に向けた知識を身に付けたいと思いました。

● 第23回鳴滝祭

令和3年10月9日(土)、10日(日)の2日間、第23回鳴滝祭を開催しました。今年は、「踏み出そう 乗り越えよう～over the top～(限界を越えて)」のテーマを掲げ、ミス・ミスターコンやのど自慢大会などの工夫を凝らしたイベントに加え、模擬店も出店しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、開催時期を昨年同様5月から10月に延期し、学内関係者のみで実施しました。学生たちはこれまで準備してきた成果を存分に発揮し、素晴らしい2日間となりました。



● 新見美術館との連携協定

令和3年7月19日(月)、新見美術館を運営する新見美術館振興財団と新見公立大学が、学生の意見を美術館運営に生かし、良質な文化活動並びに教育活動を実施することを目的とし、連携協定を締結しました。

本学では学生の知識・技能の習得と同時に人間力や感性の向上にも力を入れています。本協定により、学生の入館料が無料となるため、気軽に足を運んでもらい、人間力の向上とアートによる地域振興につながることを期待しています。



連携協定締結式の様子

防災士(認証資格)の養成も進んでいます

—自分の命を守り、他者を助ける—

2020年度から全学科2年生を対象とし、防災士養成を開始しました。防災士は特定非営利法人日本防災士機構による認証資格で、本学ではこの講座を「地域防災論」「地域防災演習」という科目名により夏季集中講義の形態で開講しています。その内容は「災害医療とこころのケア」「土砂災害」「気象災害・風水害」「地域防災と多様性への配慮」等、多岐にわたっています。

防災士養成講座は一般的に民間団体や行政機関により行われていますが、名古屋大学や香川大学、鹿児島大学等他大学でも、徐々にその養成が行われ始めています。通常の養成講座では、座学を中心に2日程度の日程で行うところ、本学では約5日間かけて、より充実したカリキュラムにより行っているのが特色です。特に演習では机上でのHUG（避難所運営ゲーム）等だけで終わるのではなく、実際に体育館で避難所設置訓練を行い、災害ボランティアを想定したシミュレーション演習も行っています。これらの演習では、新見市消防本部、新見市防災士会、新見市社会福祉協議会の皆様にもご参加いただき、多大なご尽力をいただいております。



避難所に避難する途中での救助訓練



避難所への避難誘導



机上での演習「避難所運営ゲーム HUG」

本学で防災士養成を始めようとした理由ですが、災害時には保健医療福祉専門職の力が必要とされるためです。例えば、医療機関や社会福祉施設、保育所に勤務している専門職には、まずは入院患者や施設利用者、園児の命を災害から守る使命と義務があります。また行政機関や社会福祉協議会で働く社会福祉士は、発災時の避難所開設や運営、災害ボランティアセンターの開設等を担い、保健師とともに住民の方の被害状

況の把握や安否確認を行うことが想定されます。さらに勤務先や職能団体からの派遣により、看護師として災害派遣医療チーム（DMAT）に参加したり、社会福祉士や介護福祉士、保育士として災害派遣福祉チーム（DWAT）に参加することも想定されます。このように専門職として避難所で活躍することが期待されています。しかしながら、各々の制度が規定する専門職養成教育には災害について詳しく学ぶ機会は制度としては用意されていないのが現状です。このようなことから、災害時においてもそれぞれの専門性を発揮できるよう、防災や災害に関する知識や技術を身に付けるために防災士養成のカリキュラムを構築しました。

また災害時に誰かを助けるためには、まずは自分の安全を確保できなければ、助けることはできません。学生の多くは下宿生ですが、この防災士養成は、自分の身は自分で守るための勉強であるとも思っています。防災士養成を開始して今年で2年目になりますが、さらなるカリキュラムの充実を図っていきたいと考えています。



避難所受付



消火訓練

健康科学部 健康保育学科

あらゆる子どもを理解する力と保育の実践力を身に付けます

健康保育学科では、通常の保育に関する学習に加え、保育者に求められる障害に関する専門的知識や子どもの発達にあわせた発表方法を学習しています。今回ご紹介する健康保育学科の授業や取り組みは、2年生の『知的障害者教育方法論』と2年生と3年生が取り組んだ『第67回音楽表現発表会プティ・コンセール』の様子をご紹介します。



講義の様子



PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）と発達支援絵カードを使った演習

知的障害者教育方法論

この授業では知的障害のある子どもたちへの支援の実際について学んでいます。「応用行動分析学」という行動の原理について考える学問を背景に、「この子の行動はどうして起こっているんだろう？どうすればよりこの子の力を発揮できる支援ができるかな？」ということをとくさんのエピソードを元に考えていきます。この授業を受けた後には「この子の場合にはどういった環境設定をしたら良いかな？」「支援の程度はどれくらいから始めればよいかな？」などの疑問に自分なりの答えを持つことができるようになることをめざしています。

授業での学びと抱負

知的障害者教育方法論では、事例を用いて子どもの心情や行動背景を考察することを通して、知的障害を持つ子どもへの具体的な支援や環境構成を日々学習しています。

専門的な用語も出てくるので、まだ難しい部分や分からないこともたくさんありますが、これからの講義の中で自分なりに考えたり、友だちと話し合ったりして、様々な特性をもつ子どもたちへの適切な支援ができる力を身に付けたいと思います。この講義を通して、一人一人に寄り添える保育者になれるよう頑張りたいです。

（健康保育学科2年 河野 美羽）



パネルシアター「あさごはんマーチ」



音楽劇「ぐりとぐら」

第67回音楽表現発表会プティ・コンセール

2年生と3年生が10グループに分かれ、音楽表現を取り入れたパネルシアターや身体表現、劇などの発表を行いました。演目の選定から細かい演出まで、すべてを自分たちで考えて形にしていく過程を通して、観客を引き付け楽しんでもらうための表現について学びを深めました。今年はコロナ禍のため合唱ができなかったり、練習に制限がかかったりと大変な面もありましたが、そのような中でも学生たちは工夫を重ね、協力し合いながら当日を迎えました。

授業での学びと抱負

今回のプティ・コンセールで、私のグループは「朝ごはんマーチ」をパネルシアターとダンスを融合させて発表しました。どのようにすれば、子どもたちに楽しんでもらえるかに重点を置き、試行錯誤を繰り返して、練習に明け暮れました。また、他学年の学生の発表を子どもの目線に立って見ることで、様々な表現法や、その見せ方の工夫を学ぶ良い機会にもなりました。この経験を、中・四国保育学生研究大会や地域の親子を大学にお招きする「ゆめのぼけつ」とにつなげていきたいです。

（健康保育学科3年 永島 光）

健康科学部 看護学科

人間力と看護力を身につけた看護専門職の育成をしています

本学には保健師教育課程、養護教諭養成課程、訪問看護・地域看護コースの3つのコースがあります。

今回の記事では、今年度より専門領域の科目がスタートした訪問看護・地域看護コース、養護教諭養成課程について、授業の様子をご紹介します。



ベッド上での入浴援助演習の様子



片麻痺のある療養者へ日常生活援助演習の様子

●訪問看護展開論Ⅱ

訪問看護・地域看護コース（3年から4年次選択）では、在宅看護論の学修を深化させ「訪問看護展開論Ⅰ・Ⅱ」の科目で、訪問看護師として必要な知識や技術と共に多職種連携や社会資源の活用などについて学修します。特に「訪問看護展開論Ⅱ」では、シミュレーション室を活用し、訪問看護を实践するうえで必要な日常生活援助方法や医療的ケアに関する知識や技術についての演習を取り入れた授業を展開しています。

■訪問看護展開論Ⅱを通しての学び

訪問看護展開論Ⅱでは、援助的コミュニケーションについて、療養者やご家族と良い関係を築くために「聴き上手」になることが大切だと学びました。聴き方にも技があり、ただ聴くだけではないのだと看護におけるコミュニケーションの深みを感じました。

講義では、訪問看護で必要な考え方や知識、人間性など、看護技術以外の学びも多く、毎回とても刺激を受けます。療養者の方やご家族の暮らしの一部として寄り添い、療養者のその人らしさを大切にできる訪問看護師になれるよう、これからも訪問看護について学びを深めていきたいと思います。

（看護学科3年 田中 陽子）

●養護概説

養護教諭養成課程（3年次から4年次選択）における「養護概説」では、学校教育における養護教諭の役割を理解し、実践力へとつなげていく講義を展開しています。養護教諭の活動は子どもの命と健康を守り、生涯にわたる健康の保持増進のために必要な力を養うための教育活動です。その中で健康診断は保健管理の中核をなすものであり、子どもたちが自分の体の成長を実感し、身体や健康について再認識する機会でもあります。大学の近くにある小学校で健康診断の実際を学び、その後学内で演習を行いました。器具に触れ実際に測定演習をすることで児童生徒の健康を考える良い機会となりました。

■養護概説を通しての学び

養護概説の講義で、健康診断の演習を行いました。私は、視力検査についての項目を担当し、正しく測定するための注意事項などを調べ、演習を交えて学びを共有しました。事前・事後の保健指導に関する内容も含めることができ、児童生徒の健康を守るという意識を持って学習を進めることが出来たと思います。

正しく健康診断を行うことは、児童生徒の健康問題を把握することでもあり、子どもたちのより良い健康状態を保つことに繋がります。養護教諭を目指す者として、子どもたちの健康を守ることを大切にしていきたいです。

（看護学科3年 高橋 なな子）



健康診断の測定演習の様子

健康科学部 地域福祉学科

実習を通して自分を磨き、成長していきます

地域福祉学科では、1年次前期に『福祉サービス入門実習』があります。様々な福祉サービス事業を展開して『福祉を中核にしたまちづくり』を行っている社会福祉法人や、地域密着型の事業所での体験実習を行います。この後、後期からはじまる介護福祉士実習では、4年生までに4期に分けて段階的に進んでいきます。社会福祉士実習は3年生前期で『コミュニティ・ソーシャルワーク実習』として実施します。今回は、初めて授業科目として福祉サービス利用者とは出会った1年生の学びと、大学になって初めての社会福祉実習でもある3年生の『コミュニティ・ソーシャルワーク実習』を紹介します。



介護老人福祉施設の説明を受けている様子

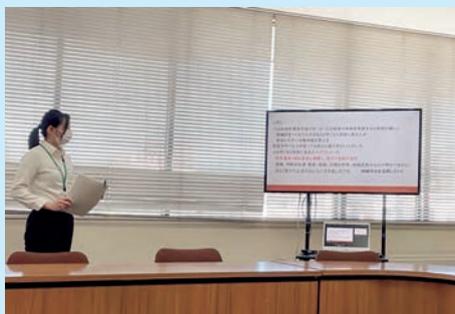
●福祉サービス入門実習

1年生全員が、障がい者の福祉作業所や高齢者の在宅サービス事業所など、複数の事業所での見学、学修、体験実習を行っています。福祉の多様な実践の場を知り、地域生活を支える専門機関としての役割を学びます。また、入学後初めてサービス利用者とも関わることになり、対人援助職としてのコミュニケーションスキルなど、学生自身が自己課題を明らかにする振り返りを行っています。

■福祉サービス入門実習を終えて

入門実習では、福祉専門職として利用者に応じた支援をするために、まずはその方のことをよく知ることが大切だと学びました。いざ利用者に関わろうと思うと、相手の気持ちを想像しすぎるあまり消極的になってしまったことが自身の課題です。その人の思いを知るためには、直接お話をすることが必要だと思うので、大学生活で様々なことを経験し、コミュニケーション力を高めていきたいです。

(地域福祉学科1年 尾花 仁美)



実習生がまとめた事例を報告する様子

●コミュニティ・ソーシャルワーク実習

本学科では社会福祉士の実習を「コミュニティ・ソーシャルワーク実習」*として、実習施設を市区町村社会福祉協議会、福祉事務所、地域包括支援センターに限定して開講しています。実習では、実習機関の理解、ソーシャルワークの理解を深め、実際に学生がアウトリーチを主とするアセスメントの実施、プランニングや地域アセスメント及び地域福祉活動主体の分析等を行いました。コロナ禍の中でしたが、学びいっぱい無事に実習を終えることができました。

■コミュニティ・ソーシャルワーク実習を終えて

約1か月間、真庭市役所（福祉課）にてコミュニティ・ソーシャルワーク実習を行いました。実習を通して福祉事務所の機能や役割、地域を基盤とした支援方法について理解を深めることができました。また、クライアントとの面接への同席や居宅訪問の同行から、クライアントのニーズ把握と支援のあり方を学ぶことができました。今後は、実習で得た学びをさらに深めることで自分が目指す支援者像を明確にしていきたいです。

(地域福祉学科3年 岡坂 菜乃子)

*厚生労働省届出済み



事例検討会の様子

第32回

母校自慢

愛媛県立
松山中央高等学校

2年
森田 真子



松山中央高等学校のすぐ側には、自然豊かな土手が広がっています。2月になると、男子はハーフマラソン、女子は10kmを走る学校行事であるセントラルマラソンが行われ、完走した後の達成感はとても素晴らしいものでした。また、私が所属していた吹奏楽部は全国コンクールに出場するなど部活動も盛んな自慢の高校です。こうした経験と吹奏楽部で奏でてきた、笑顔でやさしい音楽を心に響かせながら活躍できる社会福祉士を目指して頑張りたいと思います。

助産学専攻科

助産学専攻科では、助産学専門職としての知識・技術・態度を身に付けるとともに、分娩介助実習や助産所実習を通じて、一人ひとりの女性に寄り添い、助産師としての役割、責任を果たす能力と思いやりのある心を持った豊かな人間性と高い倫理観を身に付けています。

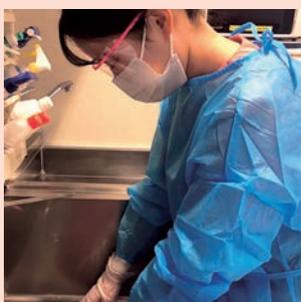


助産所実習の様子

■助産学実習を通しての学び

私は、助産学専攻科での授業や実習を通して、妊娠から産後にかけてお母さんが抱えている思いや不安は人それぞれであることを知りました。そして、お母さんや周りのご家族に対して切れ目のない支援をしていくためには、一人ひとりを見て知るといふ姿勢を持ち続け、信頼関係を築くことが大切であると学びました。お母さんやご家族と信頼関係を築いていくために、相手の立場に立って考え、助産師としてできることを見つけながら寄り添い、その方が持つ強みを最大限に活かした関わりができる助産師となれるよう、今後も学び続けたいと思っています。

(助産学専攻科7期生 本田 瑞希)



胎盤計測の様子

助産学専攻科に入学後、助産師に必要な専門知識を身につけ、多くの人に関わり、自分自身とても成長できているような気がします。助産学実習では、モニターや数値からだけではなく、産婦さんの傍で寄り添いながら、得られる些細な言動・表情の変化の情報をもとに、分娩進行に伴ったケアを提供することの大切さを学ぶことができました。出産後のお母さんが、「一人じゃ乗り越えられなかった。とても支えになりました。ありがとう」と言って下さった時には、心から喜びを感じ、助産師になるためにこれからも頑張っていく大きな励みになりました。

(助産学専攻科7期生 中原 優華)

大学院 看護学研究科

大学院では、9月に中間発表会を行っています。中間発表会では修士論文の作成に向け、研究の進捗状況の報告を行います。発表会の中で、大学院の先生方からいただいた多くの意見や助言を活かし、論文を作成していきます。



発表会の様子

■中間発表会を終えて

今回、中間発表に向けて今までの研究の振り返りと調査結果をまとめていく中で、数か月前よりも自分の研究に対し、より具体的に内容を理解しながら研究に取り組んでいることに気づきました。過去作成してきたレビュー内容や先生方とのやり取りの中で、点と点だった知識が繋がっていく様を実感することができました。

迎えた中間発表では、先生方や他の大学院生達からアドバイスをいただき、新しい視点や方向性に気づくことができました。

修士論文へ取り組むにあたり、仕事や家庭の両立、中間発表の5日後に控えた国家試験勉強等、個々さまざまな状況の中で取り組んでいたため、先生方のご指南なしでは到底中間発表を迎えることができなかったと感じております。

残り数か月の大学院生活がより充実したものとなるよう、邁進していきたいと思っております。

(看護学研究科6期生 代表)

同窓会 だより

同窓生の近況を
報告します。

同窓会開催のお手伝いをします

昨今の情勢により、同窓会を開催するのが難しいご時勢ではございますが、感染が落ち着き、開催される際は大学がそのお手伝いさせていただきます。

学部・学科と卒業年度及び開催時期などを本学学生課へお知らせいただければ、同窓会の案内を発送し、出欠を取りまとめて、同窓会幹事へ連絡をします。同窓会を企画されている幹事の皆様、ぜひご連絡をください。

学校保健や精神看護学の授業に卒業生が
専門分野の講師として来学してくれました。



国家試験にむけて
後輩(在学生)に
エールをくれました。



卒業生近況報告

児 童福祉司として働き始めて2年目になりました。新見公立短期大学を卒業してから社会福祉学部のある4年制大学に編入学し、現在は兵庫県職員となって、児童相談所の一時保護所で働いています。一時保護所は家庭や児童福祉施設等で暮らしていくことが難しい子どもたちが保護される場です。ですから、



兵庫県中央子ども家庭センター
天野 莉香子
(新見公立短期大学幼児教育学科 37期生)

ここでは新見公立短期大学で培った対子どものスキルが非常に活かされています。対峙する年齢は異なりますが、乳幼児期に大人にしっかり関わってもらっていたかどうか、その後の人格形成に大きく影響していくと、改めて感じさせられています。

現在兵庫県では、子どもの意見表明権を確保するための第三者委員会を立ち上げて、処遇の中心である子どもたちの意見がきちんと反映されるように、新たな取り組みに挑戦しています。子どもたちがより大切にされる環境づくりに向けて、引き続き頑張ります！

介 護現場で6年働き、結婚・出産の後、生活相談員として働いて3年目となりました。ご利用者、ご家族など多くの方との関わりの中でやりがいを感じる反面、まだまだ自分の知識不足に反省することも多いです。業務の中で実習指導にも携わっており、新見公立大学の実習を受け入れるたび、学生時代の記憶が蘇り、懐かしい気持ちになります。



特別養護老人ホームあかねの郷
小堀(藤尾) 美咲
(新見公立短期大学地域福祉学科 14期生)

今年、介護支援専門員の資格を取得したので、ご利用者やご家族が安心して暮らすことができ、「ここで良かった」と言っていたように、資格や経験を活かして自分に出来ることをしていきたいと思っています。育児に仕事に毎日があっという間に過ぎていきますが、またいつか皆に会えることを楽しみにしています。

今年、介護支援専門員の資格を取得したので、ご利用者やご家族が安心して暮らすことができ、「ここで良かった」と言っていたように、資格や経験を活かして自分に出来ることをしていきたいと思っています。育児に仕事に毎日があっという間に過ぎていきますが、またいつか皆に会えることを楽しみにしています。

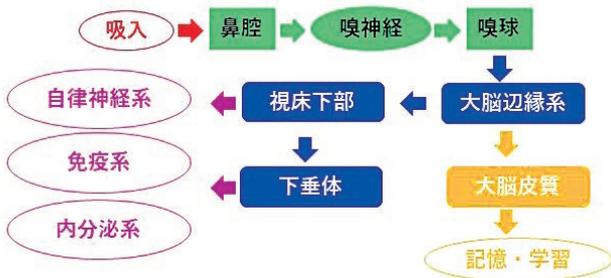


■私の研究紹介
アロマセラピーに用いる精油の神経細胞への作用機序の解明
及び臨床応用に関する研究

助産学専攻科長 四宮 美佐恵

7年の臨床経験を経て看護師・助産師教育に携わり33年になります。助産師教育は10年目になります。助産師教育においては、女性の社会進出、晩婚化・晩産化の進行や、地域社会や家族の子育て機能の脆弱化などを受けて、女性の生涯にわたる健康支援やハイリスク妊産婦の状態アセスメントに基づく重症化予防支援能力、分娩進行中の正常からの逸脱の判断、異常を予測する臨床判断能力、多職種と連携・協働して地域における子育て世代を包括的に支援する能力などを有する助産師の育成に向けた改正が行われてきています。

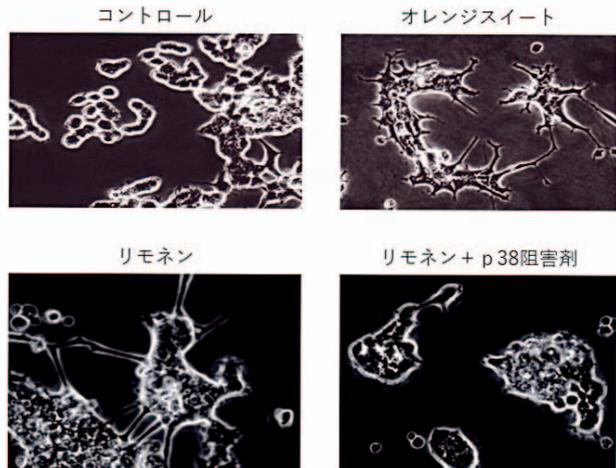
現代社会は、かつてないほど複雑になり、心と身体のバランスを崩したり、ストレスを抱える人が増えています。同時に、医療現場でも、医療の根底にある心の問題や生活環境など、その人を包括的にケアできる医療が求められてきています。そこで注目されているのが、「補完代替医療」です。その中の1つにアロマセラピーがあります。補完代替医療の中で、アロマセラピーは単に香りを楽しむだけにとどまらず、精油のもつ様々な生理作用・薬理作用を利用して医療の現場で臨床応用されており、重要な位置を占めてきています。アロマセラピーでは、香りが脳に伝わりそこから心に作用する仕組みを活用しています。そのプロセスは科学的にも解明されてきており、香りの癒し効果と精油成分の薬理作用で様々な不調に効果を示すことが期待できます。



精油の吸収経路（嗅覚）

助産師教育の教育内容にもアロマセラピーが示され、産科でのアロマセラピーとして、妊産婦のメンタル面のケアや多様化する妊産婦とその家族の産科医療への期待に応えることを目的に実施されています。日本では、精油の取り扱いが雑貨となり、法律上規制がゆるく、その品質の見きわめが難しいとされていますが、日本の医療分野でも取り扱いが始まってきているにもかかわらず、正しい知識が周知されていない現状があります。

精油による神経突起形成



私は、博士学位論文のテーマとして「アロマセラピーに用いる精油の神経細胞への作用機序の解明及び臨床応用に関する研究」に取り組みました。同じ時期に「学術研究助成基金助成金基盤研究（C）」の採択を受け、研究代表者として、精油の効果の検証を行いました。この研究では、アロマセラピーに用いる精油の神経細胞への作用機序を解明し臨床における有用性を検証することを目的としました。その結果、アロマセラピーに使用される精油の成分は、細胞の分化・保護に働き、細胞死を抑え、ストレスを回避する作用を持っていることが明らかになり、アロマセラピーは、心身の安定を促し、自然治癒力を促進し、疾患の治癒や予防に効果があることが示唆されました。また、月経随伴症状で苦痛を感じている女性に有用であるかを検証した結果、随伴症状の軽減が見られました。痛みについては主観的な評価ではありますが、VAS、MPQ、BRTPの痛みの評価スケールを用いて検討した結果、アロマセラピー介入前後で有意に軽減していました。これは、精油の作用と考えられている、自律神経系の調整作用、ホルモン分泌を調整作用、ヒトの感情や情動を司っている大脳辺縁系に働きかけ、不安感やうつ状態などの改善効果、プロスタグランジンの生合成を阻害する作用が働いたと考えられます。また、助産学生が、臨床において、分娩の促進ケアとしてアロマセラピーを実施し、効果がみられています。分娩に使用する際は精油の薬理作用ばかりを求めるのではなく、産婦の好みや心理作用にも目を向け、精神面でのフォローとなるように心がけることも必要であると考えています。

今後は、妊産婦とその家族の産科医療への期待に応えることができるよう、研究を重ねて行きたいと思っています。

News & Events

学内のお知らせ
イベント案内

スポーツ大会

スポーツ大会は、年に2回春と秋に開催されます。何のスポーツをするのかはお楽しみです。参加者は、男女問わず、1年生から4年生と学年の垣根を越え、3学科誰でも参加することが出来ます。

勝負ごとになると学生全員が真剣になり、毎回熱いバトルが繰り広げられ、とても盛り上がっています。

またスポーツを通して、上級生や他学科との繋がりもでき、そこもスポーツ大会の魅力のひとつになっています。



クリスマス会

クリスマス会では、ダンス部、軽音部による圧巻のパフォーマンスやその他にも有志による楽しいステージ発表が毎年行われています。ケーキが参加した方にひとつ配布され、いくつか種類が用意されていて、毎年どれにしようか迷ってしまいます。そして会の最後には抽選会が行われ、豪華景品が当たるチャンスが！最初から最後までドキドキ、ワクワクがとまりません。学校行事の中で鳴滝祭に勝るとも劣らない、そんな楽しい会になっています。



注：体調管理を行った上で、球技中およびパフォーマンス中のみマスクを外しています。

奨学金制度

名称	種別	採用人数	金額	内容
新見公立大学 ふるさと育英奨学金 (申請先：新見公立大学)	給付	健康保育学科4人 地域福祉学科4人 看護学科5人	10万円 (年額)	本学学部入学生の内、入試成績が優秀であり、かつ本学が定める家計基準等を満たした学生に給付します。申請に基づき、入試種別ごとに選考します。
新見公立大学 奨学基金 (申請先：新見公立大学)	貸与 (無利子)	制限なし	30万円 (上限)	本学在学が国内外の研修等に参加する場合、又は緊急な事情等により経済的に困窮した場合に貸し付けます。卒業までに返還する必要があります。
新見市看護学生 奨学支援金給付制度 (申請先：新見市)	給付 (条件付)	4人程度 (新入生・在生含む)	10万円 (月額)	新見市内の医療機関等で、看護師として勤務しようという意思のある看護学生に給付されるものです。卒業後、新見市内の医療機関等に4年以上勤務する必要があります。(市長が認める場合は、新見市内の医療機関等に4年以上勤務するまでの間、新見市外の医療機関等に5年以内従事することができます。)
新見市介護学生 奨学支援金給付制度 (申請先：新見市)	給付 (条件付)	4人程度 (新入生・在生含む)	5万円 (月額)	新見市内の介護事業所等で、介護福祉士として勤務しようという意思のある介護学生に給付されるものです。卒業後、新見市内の介護事業所等に3年以上勤務する必要があります。

高瀬地域住民とのお餅つき交流

地域福祉学科では、新見地域の生活や住民理解のため、地域との交流を進めています。12/1に「基礎ゼミナールC」の科目の中で、神郷高瀬地域の方7名をお招きし、昔ながらの杵(きね)を使用したお餅つきを教えていただきました。お餅つきの交流は2006年から始まり、毎年楽しみにしていましたが、コロナウイルス感染の影響で2年ほど開催できませんでした。しかし、今年度はコロナ対策を行いながら1.3年生合同で実施しました。紫いも・ぜんざい・ポン酢と大根おろし・きなこなど、なじみ深いものから、ほうとうの葉を使用したものや、炒った黒豆の豆餅など、地域の独特のお餅も登場し、地域の昔の風習や新年を迎えるためのお話を伺いました。杵を持つ手が、さまになった学生もいれば、まだまだ修行が必要な学生もいて新見ならではの貴重な経験となりました。

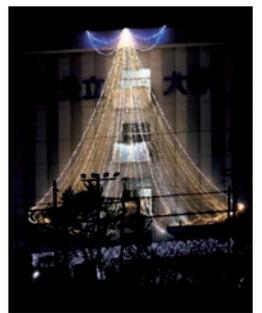


イルミネーション点灯式

令和3年12月14日(火)にイルミネーション点灯式がおこなわれました。

イルミネーションは毎年12月～1月末頃まで綺麗に輝きます。

今から11年前に当時学長であった難波正義先生の発案により始まりました。イルミネーションは、呼び掛けに賛同した教職員が寄附をし、後援会の援助もいただきながら設置しています。イルミネーションの様子



設置した当初は、壁の一部だけ照らす少し寂しいイルミネーションでしたが、毎年少しずつ数を増やし、今では市街地からでもはっきり見える立派なイルミネーションになっています。イルミネーションで、周囲が明るくなり、学生が安心して帰れるようになるのと同時に地域の方にも喜んでいただけるようになりました。今後も続けていく予定です。

まんさく

2022年2月号
Vol.62



編集後記

寒い日が続いておりますが、新型コロナウイルス感染症の流行からはや2年となりました。依然として不安な日々を過ごされている方も多いかと存じます。少しでも早く平穏な日常が訪れることを願ってやみません。

今号の冒頭では、大学における新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じながらの対面講義の様子についてご紹介させていただきました。学生は手洗い、マスクの着用等の基本的な感染予防対策の実施はもちろんですが、健康状態に異常があった際や県外移動の必要が生じた際には保健管理センターへの相談・報告と適切な対応が行われております。

平成30年7月豪雨をはじめとする大雨や、地震などの自然災害に私たちはいつ、どこで遭っても不思議ではない状況であると言えます。そこで本学では、日本防災士機構が認証する「防災士」として必要な知識（主として自然災害の知識、災害及び防災の知識、災害情報における知識）を身に付け、防災士の資格取得を目指す科目として3学科共通科目である地域防災論を開講しています。今回は地域防災論の演習の様子をご紹介させていただきました。今後、それぞれが働く場所で災害に遭遇した際に、防災士として身につけた知識と経験が生かされることを期待しています。

今後とも卒業生の皆様、地域の皆様には、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。（安藤）

発行

新見公立大学

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2

TEL.0867-72-0634

FAX.0867-72-1492

URL : <https://www.niimi-u.ac.jp/>

編集

広報委員会

広報部長

梶本 佳照

広報委員(50音順)

安藤 亮 泉 宗孝 井上 弘子
入江 慶太 高杉 公人 久恒 拓也
安原 知章 柳迫 三寛 八尋 茂樹
山根 智幸 山野井尚美

NiU 駅西交流棟 PROJECT を紹介します

新見駅西学生アパート「えきよこ」2022年1月完成



NiU新見駅西サテライト 4月オープン



1階部分「NiU 新見駅西サテライト」は、地域共生の理念に基づく“大学を活かす街づくり”を目指して、「人と地域を創る新見公立大学」地域共生推進センターが核となり、“子ども中心の多世代交流広場”として活用する計画です。3つのセクションは、本学学生・教職員が中心となり、市民の協働の中で大学教職員とともに、“街中交流広場”として運営していく予定です。

出身都道府県別在籍者数 (2021年10月1日現在)

(単位:人)

	大学										大学院		計	
	健康保育学科		地域福祉学科		看護学科		助産学専攻科		看護学研究科		計			
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	1年	2年				
北海道				1	1			1	2			1		6
宮城県													1	
茨城県													1	
茨城県													1	
群馬県														
千葉県														
富山県														
石川県														
福井県														
山梨県														
長野県														
岐阜県														
静岡県														
愛知県														
三重県														
滋賀県														
京都府														
大阪府														
兵庫県														
奈良県														
和歌山県														
鳥取県														
島根県														
岡山県														
内)新見市														
広島県														
山口県														
徳島県														
香川県														
愛媛県														
高知県														
福岡県														
佐賀県														
長崎県														
熊本県														
大分県														
宮崎県														
鹿児島県														
総計	53	57	47	58	53	50	84	83	81	66	6	3	7	648